



ACM チューリング賞 50 周年を祝って

■ Vicki Hanson

情報処理学会が学会誌にて ACM A.M. チューリング賞 50 周年を特集されることを大変喜ばしく思っております。また、大変光栄なことに特集号の巻頭コラムの執筆依頼をいただきました。これまで、さまざまな国々の計 64 人の方々が、計算機科学の基礎・基盤を築いた功績によりチューリング賞を受賞されました。ACM チューリング賞の名声は、栄えあるこれらの貢献の重要性に相応しいものです。創設から 50 年、本賞は計算機科学におけるノーベル賞として知られるようになり、受賞者には、グーグル社の寛大なるご支援により、賞金 100 万ドルが授与されます。

ACM はチューリング賞 50 周年を記念し、1 年間にわたり、Web ページ (<http://www.acm.org/turing-award-50>) で取り上げられているさまざまなプログラムを支援します。このサイトはチューリング賞受賞者や Alan Turing 自身に関する情報を提供しているほか、今後開催予定の特別イベントであるチューリング賞 50 周年記念会議に関する情報も提供しています。チューリング賞 50 周年のクライマックスを飾るこの会議は 6 月 23 日～24 日にサンフランシスコで開催され、コンピュータ科学の成果とチューリング賞受賞者を紹介し、多くの受賞者に話を伺います。学生や若手の研究者がチューリング賞受賞者と交流する機会も設けます。

この会議は計算機科学のさまざまな領域をカバーする 7 つのパネルディスカッションからなり、専門家と社会全般の両者が関心を持っている最新の話題について検討、議論を行うことを目的とします。チューリング賞受賞者や ACM が授与している他の賞の受賞者を含むパネリストが、コンピュータ科学の今後を展望します。パネルの議題は以下のとおりです。

- 深層学習の高度化：深層学習は世界を、仕事をどう変え、どのようなブレークスルーが予想されるか？
- 国家安全保障を損なうことなく個人のプライバシーを取り戻す：計算機科学は個人のプライバ

■ Vicki Hanson
ACM 会長

Vicki Hanson は米国ロチェスター大学の特別教授であり、専門は Human-Computer Interaction, 特に accessibility research である。ACM, the British Computer Society, the Royal Society of Edinburgh のフェローでもある。



シーと安全保障の両者に寄与できるか？

- ムーアの法則は本当に死んだ：今後はどうなるのか？ この地殻変動により閉ざされた扉、新たに開く扉は何か？
- 量子コンピュータ：実現ははるか先か？ もうすぐ見えてくるのか？ あるいは同時にその両方か？ 理論と実用の両面において我々はどこに向かっていているのか、また、未来の計算機の専門家にはどのような量子科学のスキルが必要になるのだろうか？
- 倫理とコンピュータ科学における挑戦：技術の進歩に生じる倫理的問題を、我々はどう認識し、どう扱うか？
- 未来に向けた過去の保存：短期あるいは長期の未来にわたっていかに電子情報をアーカイブし、データや文書の読み出しを保証できるか？
- 拡張現実：ゲーミングから認知支援、そしてその未来：拡張現実のためのセンサとセンサディスプレイ技術は個人と共同体をいかに強化できるか。

ACM チューリング賞 50 周年記念会議を体験するにはいろいろな方法があります。実際に会議に参加するならば、以下のサイトからご登録ください。

<https://www.regonline.com/acmturing50thcelebration>

ACM の会員であれば登録料はかかりませんが、会場は限られています。お早目に登録することが重要です。イベントに直接参加できない方々のため、パネルディスカッションはライブ配信されますし、後ほど（字幕付きで）見られるよう、録画される予定です。

最後に、皆様が広範にわたるチューリング賞受賞者の成果とそのインパクトをハイライトするこうした ACM のアクティビティを体験できることを願っております。

